

令和元年度 河川における化学物質の状況

(1) 概要

- ・神戸市では、残留性や使用実態を考慮の上、河川における化学物質の実態を把握するため、測定を行っている。
- ・令和元年度は、近年低濃度ながら河川水等の水環境から検出されている医薬品由来の PPCPs（医薬品・生活関連物質）であるメトホルミン（血糖降下剤）及びピリドスチグミン（コリンエステラーゼ阻害剤）について、4河川4地点で測定を行った。

(2) 測定結果

- ア 測定時期：令和元年5月、8月、11月、令和2年2月
- イ 測定地点：志染川・坂本橋、明石川・上水源取水口、伊川・二越橋、福田川・福田橋（全て環境基準点）
- ウ 測定結果
- ・メトホルミンについては20～200 ng/L（平均53 ng/L）、ピリドスチグミンについては全ての地点で1 ng/L未満であった。
 - ・メトホルミンの各地点における測定値（平均値）については、志染川・坂本橋では20 ng/L、明石川・上水源取水口では23 ng/L、伊川・二越橋では50 ng/L、福田川・福田橋では120 ng/Lであり、福田川の値がやや高かった。